



新春茶話会

前田施設長の挨拶

1月20日に、新年を迎えての最初の行事「新春茶話会」が催されました。お菓子とコーヒーで会話を楽しまれるなか、獅子舞が皆さんの厄を払って練り歩きました！怖がる利用者さん、大きな声で笑う利用者さん、笑顔で見守る利用者さんもいらして楽しい時間を持つことができました。

また、梶山優樹さんの成人の御祝いも皆で行い、大きな拍手に包まれました。

職員による獅子舞



おやつタイム♪



祝 成人



20歳になりました!

2019/01/20

この1年を振り返って

支援部各チーフマネージャーより

権利擁護の観点から



いながわ まさゆき

今川 雅之

この1年は、虐待防止委員会から権利擁護委員会に名称変更し、良い支援の拡散を目指してまいりました。月間目標では、頭文字に「良い支援をするために」を付けて朝礼・夕礼に読み上げたり、セルチェックシートでは「良い支援者」を記入いただき、どのような支援でそう思ったのかも記入いただきました。全体が非常に風通しの良い空気を作ろう・良い支援をしようという気持ちを感じられた1年となりました。

しかし一方で、見直さなければならない支援はまだまだあるのが現状だと考えています。権利擁護委員会として、どのように職員に啓発していけばもっと良い支援を広げていけるのかを日々模索している次第です。信愛園全体で手を取り合って、利用者さんにより良い環境を提供出来るように邁進していきたいと思っておりますので、来年度もどうかご協力・ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



施設内研修を振り返って



みつおか こうた

光岡 広太

今年度、研修委員会として「職員一人一人の知識の幅を広げ支援力向上を目指す。」と目標を定め、介護技術研修、強度行動障がい研修、人権研修を開催し、職員個々人の支援力向上に努めてまいりました。H27年度の虐待事案以降毎年様々な研修を開催してまいりましたが、今年度特筆すべき点として外部講師への依頼をせず全ての施設内研修が当法人職員で主催し実施出来た事です。

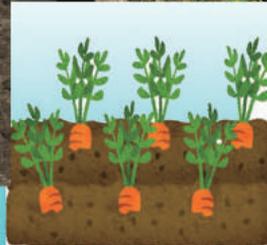
これは以前に比べ職員全体として支援力、また人権意識が向上している結果だと感じております。次年度以降も職員一丸となって研鑽を重ね、更なる支援力向上をめざしてまいります。



生産班スタートの1年

お世話になっております。生産班中嶋です。今年度を振り返りますと生産班がスタートした年でした。生産班は昨年5月から様々な野菜を収穫してきました。中でもヤーコンは皆さんと一緒に芋掘りができ印象に残っております。来年度に向けましては生産を通じて皆さんに楽しんで頂ける新たな企画を考えて参ります。

なかじま まさき
中嶋 政樹



医務より～この一年を振り返って～

今年度、新しい試みとして職員に抜き打ちで急変時訓練を実施しました。職員の方々も最初は「？」と言う感じでしたが慌てふためくことなく行われました。評価としては、ざっくりは出来ていたと思うのですが、細かいところがまだ目が行き届いておらず課題の残る結果となりました。

普段より急変時に関して口頭で説明などは繰り返し伝えてきましたが、聞いてイメージ出来ていても、実際はなかなか出来るものではありません。また、急変とはどのタイミングで起こるかもわかりません。しかし、どんなタイミングで起きても初動を的確に行うことが1つの命を守ることに繋がってきます。

北摂信愛園も高齢化の波が勢いよく押し寄せしており、日々利用者様の状態の変化に気を抜けない状況であります。今後もあの手この手で施設全体のチームワークを強め、入所されておられる利用者様のために知識、技術の向上に努めて参りたいと思います。



なかじま ゆきこ
北摂信愛園 保健部 看護師 中嶋友紀子

1 1月喫茶会



1 2月、1月誕生会



3月調理実習



ふれあい 交流会



ひな祭り



退職者あいさつ



平成24年の4月に入職しこの3月で丸7年になります。入職当時から保護者の皆様には可愛がっていただき、本当に感謝しております。また、障害者の方々と関わる事は日常生活ではまだまだ少なく、信愛園では貴重な経験をさせていただきました。私自身至らない所が多々あり、利用者さんを始め保護者の皆様、職場の方々には大変ご迷惑おかけし申し訳ございませんでした。また温かく見守って頂き本当にありがとうございました。

最後になりましたが、信愛園のますますのご発展をお祈りし、利用者さんと保護者の皆さまにおかれましては、ご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

支援員 樽谷祐樹



この度、3月31日をもって退職することとなりました。

生活支援員として5年あまりパートとして勤務させて頂きました。これまで福祉の経験はなく、不安も大きかったのですが、利用者さんの笑顔・職員皆様のあたたかいサポートのおかげで、今日まで続けることができました。誠にありがとうございました。

支援員 森田真奈美



新入職員あいさつ

2月15日から働かせていただくことになりました、寒川未喜(さむかわみき)です。

まだまだ分からないことがたくさんあり、ご迷惑をお掛けする事もあると思いますが、一日でも早く仕事を覚えて精一杯頑張りますのでよろしく願いいたします。



セルフチェックシート集計結果

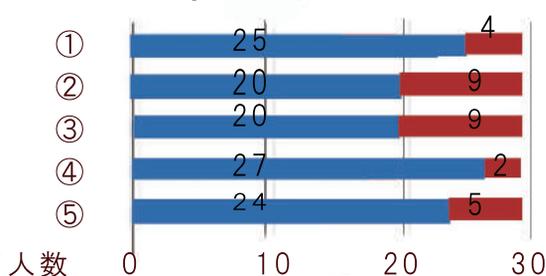
北摂信愛園では、虐待防止の取り組みとしてセルフチェックシートを毎月行っています。職員自身が前月の行動を振り返って項目の確認をし、虐待を起こさないという意識を保ち続けています。

○ ■ 出来た △ ■ ほぼ出来た □ ■ あまり出来なかった

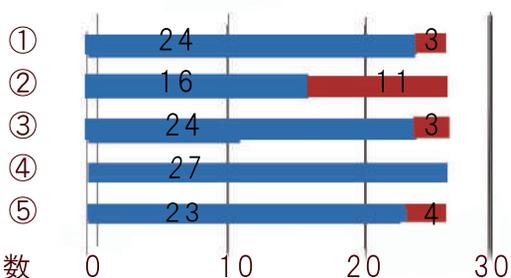
チェック項目

- ① 見て見ぬふりをしない
- ② 利用者の意思を無視して支援者のしたい支援をしない
- ③ 利用者が理解できない言葉で話さない
- ④ さん付けで呼ぶ
- ⑤ 職場に対するストレスを支援に持ちこまない

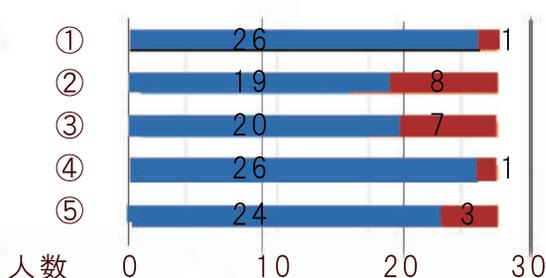
1 1月 対象 29人



1 2月 対象 28人



1 月 対象 27人



生産班

ハムスターのおふとんをつくらっています！

生産班では、これまで行なっていたペット砂の生産作業を終了し、新たに小動物用の綿のベッドを生産しています。

作業環境を見直したことで、よりクリーンな環境で作業できています。また、それぞれの得意な事を活かして分業し、ひとりひとりが役割を持ち、責任感を持って取り組んでいます。



↑ ①わたを袋に詰める

↓ 皆さん談笑しながら作業



↓ 女性も大活躍！

↓ ②検品 重さをチェックしています



↓ ③最後は職員が封をします



皆さんお疲れ様です！
月に一度の慰労会



小動物えさラベル貼り
ヤドカリのえさ組み立て...
得意な事を活かして、
ひとりひとりに合った作業を
模索しています！

寄付紹介

社会福祉法人北摂信愛園では、障害者福祉に関心のある皆さま、法人・団体の皆様からの寄付金の受付を行っております。

当法人による、社会福祉事業は国・地方自治体からの運営費によって実施されますが、加えて、法人・施設の更なる充実、利用者への処遇の向上及び新たな施設の開設資金等として、支援していただける皆様の寄付金を財源とし障害者福祉への助けとなればと考えています。

多くの皆様のご支援、ご援助を心からお願い申し上げます。

吉岡敬三様 他2名 トイレットペーパー1箱
井手和明様 切手
保護者会より 各行事に際してお菓子、タオル等

あたたかいご支援、ありがとうございました。大切にさせていただきます。



ご寄付・ご寄贈の流れ

申込用紙(寄付申込書)をホームページにて、印刷のうえご記入いただき、社会福祉法人 北摂信愛園へ、FAXまたは郵送方お願いします。

寄付金：①個人 1,000円以上
②法人10,000円以上

*インターネットの環境が整っていない等、ホームページからの印刷ができない場合は下記の問い合わせ先にご連絡ください。

銀行振込による場合のお振込先

銀行名 池田泉州銀行
(銀行コード;0161)
支店名 池田駅前支店
(支店コード;104)
口座種別 普通預金
口座番号 1283282
口座名義 社会福祉法人 北摂信愛園

お問い合わせ・ご連絡先

社会福祉法人 北摂信愛園 事務局 担当櫻井迄
〒563-0217 大阪府豊能郡豊能町川尻72-5
TEL:072-739-0456 FAX:072-739-0457

保護者の皆様

北摂信愛園では、利用している皆様に対して、適切な支援を行なうよう、スタッフ一同、十分に留意しながら、日々の業務に努めております。もし、北摂信愛園の支援について、虐待の疑いなど何か気になることがありましたら、施設職員または下記までご連絡ください。

北摂信愛園第三者委員

- 荒木啓元(あらか ひろもと)さん 電話 070-5668-6115
メールアドレス dai3.araki@gmail.com
相談・苦情受付 対応時間:月~金(祝日は除く)9:00~17:00
- 山下堅司(やました かたし)さん 電話 072-739-1670
- 中 繁樹(なか しげき)さん 電話 072-738-6437
- 橋本謙司(はしもと けんじ)さん 電話・FAX 072-739-2899
メールアドレス hashimoto-kenji@leto.eonet.ne.jp

大阪府福祉障がい福祉室生活基盤推進課 電話 06-6944-2295
福祉サービス苦情解決委員会(大阪社会福祉協議会運営適正化委員会)

編集後記

鶯の鳴き声はまだ初々しく、ひよろっとした鳴き声や勢いよく吹く風の唸り声に春に変わっていく実感をひしひしと感じる今日この頃です。

この通信も新年度に切り替わり、新しい利用者や保護者の皆さま、職員の声と共に、信愛園をもっと知りたい、良く知っているとの声を多く寄せていただける内容へと研鑽していければと思います。